

令和4年度 第5回 鈴鹿市立千代崎中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和5年1月20日(金) 13:25~14:45

2 場 所 授業見学場所及び千代崎中学校図書室

3 概 要 授業参観及び令和4年度学校関係者評価

4 委員の意見等

(委員長)

- ・本日の不審者メールにもあるように、今般、子どもが母親を刺殺したり、母親が子どもを刺殺したりするような悲しい事案が発生している。こうしたことが起こらないように、学校と地域が連携を図り子どもの育成に寄与していきたい。

(学校長)

- ・委員長のあいさつにもあったように、家庭や地域の見守りにより、生徒の健全な育成につながっている。専門機関等と連携を図りながら対応する案件もあるが、全体的に生徒は落ち着いた状態で、学校生活を送っている。
- ・一昨日、新入生説明会を開催した。現時点で180名程度の入学者を予定しており、1学年の普通学級は、加配学級を含めて6学級となることが見込まれる。また、特別支援学級も増設される可能性がある。
- ・3年生生徒は入試が始まっており、今週末に大半の生徒が受験する私立高校入試がある。県立の前期選抜は2月2日と3日に行われ、7割程度の生徒が受検する予定である。
- ・新型コロナウイルス感染症罹患者数は減少傾向にあるが、流行性感冒が大規模な流行が懸念されることから、引き続き感染症対策等を講じていく。

(1) 授業見学について

- ・どの生徒も落ち着いた授業態度で、授業を受けていたと感じる。
- ・ICT機器の活用により、生徒の興味関心を引きやすくなっていると思われる。

(2) 自己評価及び学校関係者評価について

【学力向上】

- ・学習習慣が定着していない子どもが多くなっていることから、低年齢の時期から習慣化されるよう、幼保小中間の連携を強化されたい。
- ・アンケート調査項目の「自分から進んで勉強に取り組んでいる」の割合が低いことが懸念されるため、要因等を分析して改善を図られたい。
- ・授業参観から、生徒の聞く姿勢が身に付いていることや先生の熱意を感じ取ることができた。今後も個に応じた学習支援や家庭との連携を図りながら、学力向上に努めていただきたい。

【ICT活用】

- ・ICT活用は今後のキャリアにおいて必要とされる力であることから、中学校段

階で活用能力向上を図られたい。

- ・学習以外の場面でも活用しており、教員の勤務軽減に資するものとなっている。

【不登校】

- ・地域住民として支援できることがあれば教示いただきたい。直接的なことでも、不登校生徒に教員が深く関わるができるよう、他の業務を割り振っていただいてもよい。
- ・カウンセリング活用状況等を数値で提示していただきたい。

【地域連携】

- ・感染症の落ち着きに伴い、地域行事等も以前の状況に戻りつつある。
- ・これまで見合わせてきた職場体験学習は、地域の方々の協力により、本年度無事に実施することができた。今後も継続していきたい。

【人権教育】

- ・他者を認め合う教育も必要であるが、社会で自立できるような力の育成を図られたい。また、困難な問題や危機的な状況等に遭遇した際に、立ち直ることができるような順応力の育成を図られたい。

(3) 意見交換

- ・卒業式の開催状況について
来賓5名程度をお招きして、3月7日（火）に挙行する予定である。
- ・薬物乱用防止ポスターの出展数も多く感謝している。また、薬物乱用防止教室を実施した際も、生徒の規律正しさが伝わってきた。

(杉谷CS推進コーディネーター)

- ・本市の地域連携の取組は先進的であり、更なる高みを目指して位置付けていただきたい。単なる協議に留まらず、今回のように授業見学を行うなどして、生徒の実態把握に努めていただきたい。
- ・中学生が地域の一員としての役割を認識したり、主体的に地域行事に参画したりできるようなことを考える機会を設定いただきたい。中学生が地域住民の救済者として、活躍できるような防災訓練等を実施するなど、地域貢献できるような場面を子どもに提供していただきたい。

(4) その他

- ・制服検討委員会において一定方向性が示されたことから、3月3日に事業者によるプレゼンテーションを実施する。
- ・次年度の地域行事については、参加回数等について精選していく必要がある。特に、一部の部活動に過重な負担とならないよう、検討していきたい。ただ、本年度実施した海岸清掃は、奉仕精神の醸成や郷土について学ぶ良い機会となることから、参加について前向きに検討していきたい。
- ・本年度の学校運営協議会は次回の開催で終わりとなる。次年度以降も委員として参画いただきたいが、適任者がいれば推薦いただきたい。